SDGs新聞	西日本旅客鉄道株式会社
人と自然の生き物が一緒に暮らすために	

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんの家の周りには、どんな生き物がいますか？
鳥や虫、川には魚もいますね。近くに森があるなら、リスがいるかもしれません。
鉄道会社の「JR西日本」では、こうした生き物たちの環境を守るために、さまざまな取り組みを進めていて、
ここではその中からふたつ紹介します。
まずひとつめは、電車に色をつける塗料を「環境にやさしいもの」に変える工夫です。
これにより、塗料が川や海に悪い影響を与えにくくなります。
そしてふたつめは、川の近くで線路などの工事をする際には、川に汚れた水が流れないようにフェンスを設置したり、
魚たちを安全な場所に移動させたりなど、いろいろな点から配慮しています。
人が自然の生き物たちと一緒に生きていくために、鉄道会社としてできることを一つひとつ。
もちろん、みなさんにもできることがあるはずです。
ちょっと話し合ってみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：ステンレス車体・耐侯性鋼材のイメージ
（JR 西日本公式 HP より）

鉄道会社の「JR西日本」では、電車を走らせたり、線路をつくったりなどの日々のさまざまな業務が生き物に悪い影響を与えないように、いろいろな工夫を行っています。たとえば、車両や線路などに使用する塗料の量を減らすために、サビに強いステンレス製の車体を導入したり、橋には塗装の必要がないサビにくい素材「耐侯性鋼材」を使用するなどしています。また、塗装が必要な場合でも、環境や健康に悪影響を与える可能性のある物質が含まれる塗料ではなく、環境にやさしい水性塗料への置き換えを積極的に進めています。

画像参照：生態系に配慮した河川工事の施工・イメージ
（JR 西日本グループ資料より）

他にも、車両を洗浄する際には、工場の排水や雨水を再利用して用いる車両洗浄機を使用しています。また、車両や部品の洗浄で出る汚水を処理するために、汚泥の排出を90%以上減らせる「電気分解式排出水処理装置」を開発しました。さらに、川の近くで橋を新しくする際や土木工事をする際には、「汚濁防止フェンス」を設置して水をきれいに保ち、同時に付近にすんでいる魚を保護して下流に放すなど、生き物への影響を少なくするようにしています。

キーワード

ステンレス車体

サビにくいという性質を持ち、耐久性も高いため、保護のための塗装は基本的に不要な車両のことです。

耐侯性鋼材

表面に保護性のあるサビの膜を張り、腐食の進行を抑制する鋼材、つまり「良いサビにより、悪いサビを防ぐ」鋼材のことです。

汚濁防止フェンス

浮輪の下に膜を取り付け、重りをつけて設置する「水中カーテン」のようなもののことです。

対象ゴール

みなさんにできること！

生き物たちの環境を守るために、なにができるか考えてみましょう。

おさらい

- JR西日本では、生き物の環境を守るためにさまざまな取り組みを行っている。
- 水性塗料や耐侯性鋼材を使用することで、環境保全に貢献している。
- 河川付近での工事の際に「汚濁防止フェンス」を設置することで、水質の維持に努めている。

メモ

SDGs ラジオ